

J R九州に「鹿児島本線等の利便性確保」を要請 !!

令和5年3月17日（金）、3月3日（金）に設立した福岡県議会の「福岡県地域公共交通事業振興議員連盟」（会長・藏内勇夫県議会議員）の皆さんは、福岡市の九州旅客鉄道株式会社（JR九州）本社を訪れ、古宮洋二社長に対し「地域住民の利便性の確保並びに利用者へのサービス向上」を要請されました。



【藏内会長：挨拶】

JR九州だけではなく、福岡県下の全ての公共交通の利便性について多くの有権者から心配する声が大きくなってまいりました。

特にコロナ禍でいろんな影響が出ているということ、経営者側におかれても、物価高等もありますし、効率化等おこなわなければならないといった面もあるでしょう。

そういったことが有権者あるいは利用者に対して、非常に圧迫感や従来と比べて利便性が低下しているということを感じておられるのではなかろうかと思っています。

我々も経営者側の努力はわかっておりますし、そういう意味では経営者側に対しましても議会を通じて、国の方にいろんな税制的な措置ができないのか、また、県独自でもいろんな協力あるいは支援ができないかということを探索しながら、我々の議会と60市町村長と一緒に、特に鹿児島本線の問題については、JR九州さんとよく意見を交換させていただきたいということです。

是非、我々の真意を汲み取っていただきまして、県民の利用者はじめ、県民の足の確保、地域と地域の絆をしっかりと結んでいるということでもとても大事なことでありますので、よろしくお願い申し上げます。

【古宮JR九州社長：挨拶】

藏内会長から言われました日田英彦山線のBRTをはじめ、いろんなことを日頃から大変ご尽力いただき、JR九州にご指導、ご鞭撻をいただきました。この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。

コロナがほぼ3年経過しまして、私ども最初の2年間、鉄道は瀕死の状態、一番低いときは前年の収入に対して10%に満たないときもありました。この先どうなるのだろうかということで、鉄道をどうにかして維持していくという発想で、昨年9月23日は西九州新幹線とあわせましてダイヤの改正をさせていただきました。

9月23日のダイヤ改正の後は、一部の列車で非常に列車が混雑したり、列車の運転区間の問題とかありましたので、まずはやれることをやろうと列車の増結をしたり、明日の3月18日で一部ダイヤを修正したりということで作業を進めているところです。

とはいえ、新しい生活様式も含め今後お客様がどのようにご利用されるのかは我々本当に注意深く、お客様のデータを取るのが一番の仕事ですので、日々きっちり見ておかないといけないと思っています。

これからは、**お客様のご乗車状況、ご利用状況を見ながら、我々も今のダイヤがベストとは思っていませんので、我々の経営の状態も見ながら引き続き勉強していきたい**と思います。

いろいろお客様や地元の方々からご意見をいただき、皆様からもご意見をいただいて、**今後、お客様にご利用しやすいダイヤを考えていきたい**と思います。

引き続きよろしく願いいたします。



藏内会長

古宮社長



松尾事務局長

原口副会長

松本副会長

井上副会長

森下副会長

2023年3月18日

福岡ワンヘルス協議会・事務局